

## お知らせ

<同時資料提供先>



令和7年1月7日

合同庁舎記者クラブ・鳥取県政記者会・島根県政記者会・岡山県政記者クラブ・広島県政記者クラブ・山口県政記者クラブ・山口県政記者会・山口県政滝町記者クラブ・中国地方建設記者クラブ

## 地方自治体が抱える施設管理の課題に対し、民間企業等が保有するシーズ技術を紹介します【傍聴参加者の募集】

～ インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」第12回・第13回ピッチイベントの開催 ～

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」において、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題（ニーズ）について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図るピッチイベントを以下のとおり開催します。つきましては、傍聴参加者を募集します。

### ■開催日時・場所

第12回ピッチイベント：令和7年1月21日（火）13:30～16:40

第13回ピッチイベント：令和7年1月29日（水）13:30～17:20

### ■開催場所

第12回ピッチイベント：鳥取市民交流センター 多目的室1（オンライン併用）  
鳥取県鳥取市幸町71

第13回ピッチイベント：復建調査設計株式会社 別館大会議室（オンライン併用）  
広島県広島市東区光町2-10-11

### ■開催内容、傍聴参加の申込要領

別添【傍聴参加者の募集】による

申込み期限：令和7年1月17日（金）

- 本ピッチイベントの開催案内、傍聴参加者の募集は、インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」のホームページにも掲載されています。傍聴参加申込書のオリジナルデータはこちらからダウンロードできます。ホームページ URL：<https://www.cgr.mlit.go.jp/kikaku/im/index.html>
- 中国地方整備局は、産学官民の技術や知恵を総動員するプラットフォームとなるインフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」の取り組みを支援しています。
- 当日、取材を希望される場合は、開催日の前日までに、以下の問い合わせ先へ連絡願います。

### 問い合わせ先

【ピッチイベントの内容に関すること】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会（事務局）

（復建調査設計株式会社 保全構造部内）TEL：050-9002-1744

藤井 友行（E-mail：[jcim-chugoku@fukken.co.jp](mailto:jcim-chugoku@fukken.co.jp)）

【インフラメンテナンス国民会議に関すること】

国土交通省中国地方整備局 企画部 TEL：082-221-9231（代表）

企画部 環境調整官 兼原 勝英（内線3114）

広域計画課 課長補佐 石田 高嗣（内線3212）

令和7年1月7日

# インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

## 第12回・第13回ピッチイベントの開催

### 【傍聴参加者の募集】

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」では、地方自治体等の施設管理者が抱える施設管理の課題(ニーズ)について、民間企業等が保有する技術やノウハウを持ち寄り、シーズ技術を広く共有し、技術の発掘と社会実装、連携の促進を図る第12回及び第13回ピッチイベントを下記のとおり開催いたします。

各回で取り扱う施設管理者ニーズは、別紙-1(第12回)と別紙-2(第13回)に示すとおりであり、傍聴参加者を募集します。

#### 記

##### ■ 開催日時

第12回ピッチイベント : 令和7年1月21日(火) 13:30~16:40

第13回ピッチイベント : 令和7年1月29日(水) 13:30~17:20

##### ■ 開催場所

第12回ピッチイベント : 鳥取市民交流センター 多目的室1(オンライン併用)

第13回ピッチイベント : 復建調査設計株式会社 別館大会議室(オンライン併用)

#### お問い合わせ先

---

インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会

藤井友行、天満真士 (復建調査設計株式会社)

E-mail : jcim-chugoku@fukken.co.jp

TEL : 050-9002-1744

# 申 込 要 領

## 1. 申込み手続き

- 定 員 : 第12回 会場80名、オンライン80名(いずれも申込み先着順)  
第13回 会場70名、オンライン80名(いずれも申込み先着順)
- 申込み方法 : 傍聴参加者申込書(別紙-3)を電子メールにて申込み先に送付
- 申 込 先 : インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」企画委員会  
藤井友行、天満真士(復建調査設計株式会社)  
メールアドレス: jcim-chugoku@fukken.co.jp

## 2. 申込み期限

令和7年1月17日(金)

## 第12回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 橋梁の効率的な点検技術	
求める技術と理由	条件等
小規模橋梁の効率的な点検 <b>【理由】</b> 新技術による点検の採用を検討しても、橋梁毎の施工量が少なく(橋長20m以下の橋梁多数)かつ橋梁が散在しているため、コスト削減効果を見込むことが困難である。	◇小規模橋梁の点検に効率的、経済的な新技術であること
写真撮影による劣化診断 <b>【理由】</b> 橋長の短い橋(5m以下)については直営点検を行っているが、現地調査から調書作成まで負担が大きいため業務の効率化を図りたい。	◇極力費用が安価な技術 ◇写真より劣化状況を判断し調書に反映させる技術

テーマ No. 2 : 圧送管の点検技術(漏水箇所の特定)	
<b>【理由】</b> 運用中の圧送管の点検方法、破損・漏水箇所の特定が難しく、ピンポイントに場所の特定ができない。	
<b>【条件等】</b> ◇運用中の圧送管の補修が必要となった時に短時間で作業を終わらせる	

テーマ No. 3 : 不明水を特定する技術

求める技術と理由	条件等
<p>不明水照査技術(場所の特定)</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>費用をかけ不明水調査を行っても場所の特定が困難である。</p>	<p>◇漏水箇所の特精度が上がることにより処理場の負荷を下げる</p>
<p>雨天時浸入水の原因箇所特定技術の開発</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>下水道事業において、施設の老朽化や誤接続に伴う雨天時浸入水が確認されており、昨今の異常気象に起因する豪雨により終末処理場の処理能力を超える汚水の流入が発生している。現状、汚水管への雨水浸入水が想定される区域が広大なことから原因の特定には時間を要するため、効率的に原因箇所を特定できるような技術の開発が望まれる。</p>	<p>◇雨天時浸入水の原因箇所を特定する</p>

テーマ No. 4 : 法面崩壊等の対策

求める技術と理由	条件等
<p>獣害対策(排水施設の埋設)</p> <p><b>【理由】</b> イノシシ等が法面を掘り荒らして道路排水施設が土砂で埋まる。</p>	<p>◇施工費が安価であること</p> <p>◇部分的な作業(維持工事)で補修が完了できるもの</p>
<p>モルタル吹付背面の空隙、剥離対策</p> <p><b>【理由】</b> 吹付面に剥離やクラックが発生している。</p>	<p>◇施工費が安価であること</p> <p>◇部分的な作業(維持工事)で補修が完了できるもの</p>
<p>モルタル吹付面の上部(自然斜面)からの落石対策</p> <p><b>【理由】</b> イノシシ等が自然斜面を掘り荒らして道路上へ落石が発生している。</p>	<p>◇施工費が安価であること</p> <p>◇部分的な作業(維持工事)で補修が完了できるもの</p>
<p>法面崩壊対策</p> <p><b>【理由】</b> 災害基準を満たす大雨ではないが、法面崩壊した箇所を維持工事で大型土のうで仮復旧しており本復旧に向けての対応(H≒10m、L≒10m)である。</p>	<p>◇施工費が安価であること</p> <p>◇部分的な作業(維持工事)で補修が完了できるもの</p>

## 第13回ピッチイベントの施設管理者ニーズ

テーマ No. 1 : 街路樹の道路建築限界への侵入を把握する技術	
求める技術と理由	条件等
<p>街路樹の成長による道路建築限界への侵入枝の早期発見</p> <p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・樹木は毎春の枝成長による徒長が大きく特に大型車との衝突が発生している。</li> <li>・街路樹の大型化や高齢化が進み幹の空洞化が散見され倒木リスクが高い。</li> <li>・恒常的な職員不足で全ての街路樹を人が計測することは不可能である。</li> </ul>	<p>◇公用車(路線バス、塵芥車、消防車も含む)にカメラを搭載し、画像計測による限界範囲への侵入が判定できるとともに、斜傾の進行や発生も検知し倒木のリスク診断ができる安価なシステム</p>
<p>道路路肩の除草、道路の建築限界確保の必要箇所を迅速に認識・把握する技術</p> <p><b>【理由】</b></p> <p>道路パトロール時の省力化を図りたい。</p>	<p>◇車載カメラ等で位置情報と現地状況が容易に把握できること</p>

テーマ No. 2 : マニュアルや取扱説明書、図面などを電子化、Web化

【理由】

設備(機械・電気・配管)を現場で点検・調査する際に、その設備の図面を探し紙ベースのものを印刷し持ち運ぶのは不便である。

【条件等】

◇タブレットなどですぐに設備の情報を確認できる

テーマ No. 3 : 鋼橋の塗膜剥離剤

【理由】

様々な材料があるが現場によっては回数が増える時もある。回数が少なくて済むような材料等があれば検討したい。

【条件等】

◇剥離回数を減らせるような(良く剥離できる)材料等

テーマ No. 4 : 獣害対策

【理由】

猪が土砂を掘り起こし側溝内に堆積する。

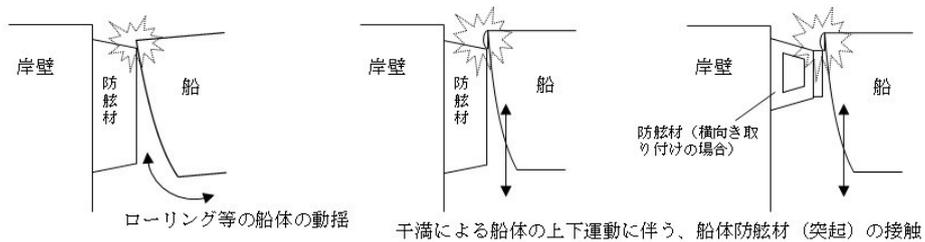
【条件等】

◇水路敷地等に簡単に設置できる

テーマ No. 5 : 船体が引っ掛かりにくい形状(角をより斜めにした等)に工夫した防舷材

【理由】

防舷材の上部(海側)の角は直角形状に近い場合、潮汐(潮の干満)による船の下降移動や接岸時のローリング、ピッチング運動により、船側に突起形状がある場合は特に防舷材の上部の角に引っ掛かりやすいと考えられる。船体が引っ掛かることで防舷材は損傷(裂傷など)を受けてしまう。



【条件等】

(特になし)

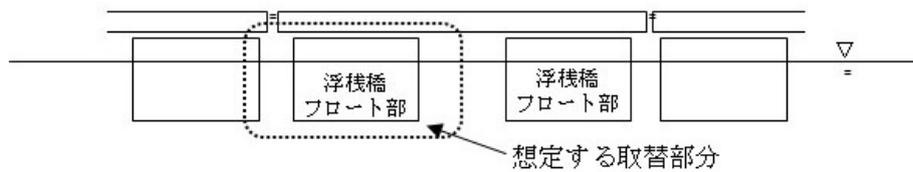
テーマ No. 6 : 陸揚げせずに現位置(海上)でフロート部の交換が可能な浮棧橋の設計事例

【理由】

浮棧橋(プレジャーボート係留施設等の小規模な浮棧橋を想定)は主に浮体(いわゆるフロート部)、鉄骨造等の骨組とデッキプレートで構成されるが、フロート部の浮力が低下した場合には浮棧橋全体を陸揚げしてフロート部を交換する必要があり、陸揚げしている期間は浮棧橋の利用を停止せざるを得ないため利用者への影響が大きい。

【条件等】

◇例えば、隣接浮棧橋のデッキを利用してジャッキアップ、現位置で膨らませることが可能なフロートの取付



# インフラメンテナンス国民会議「ちゅうごく」

## 第12回・第13回ピッチイベント

### 傍聴参加者申込書

令和 6 年 12 月 日

参加希望	<input type="checkbox"/> 第12回ピッチイベント（令和7年1月21日） 会場 ・ WEB		
	<input type="checkbox"/> 第13回ピッチイベント（令和7年1月29日） 会場 ・ WEB		
フリガナ			
企業・団体名			
フリガナ			
参加者			
フリガナ		フリガナ	
所属		役職	
フリガナ	〒		
所在地			
連絡先 メールアドレス			
電話番号			

#### 注意事項

1. 申込みの際の電子メールの件名は、「ピッチイベント傍聴参加者申込み」としてください。
2. 参加形式は、会場またはWEBを指定してください。
3. ご記載いただいた個人情報は、ご本人の同意なく当ピッチイベント以外で利用することはありません。